

大相撲大阪場所観戦印象雑記  
荒れる大阪場所とは言われるが……

3月10日に大阪場所が始まった。いつものように、ビデオレコーダーに録画しておいて、夕食後にじっくり鑑賞。初日から三日目頃迄見ていて印象に残ったのは、阿武咲・大の里・尊富士の三力士。阿武咲の前傾姿勢を保って頭から相手にあたって圧力をかけ続け、その間も足が素早く動いており、土俵際での腰の位置も下り良い動きをしていた。いつもの場所だと、頭を下げすぎて足腰が付いていかずたたき落とされるのだが、今場所はそれが無い。ことによると……と感じさせるような内容だった。大の里は、昨年五月場所に幕下10枚目格付出して初土俵を踏んだ。力士としてもまだ一年経っていないし、新入幕からも二場所目。まげが結えなくザンバラ髪の前頭五枚目。192cm183Kg のほぼ完成された体躯で、腰を移動しながら体全体の力で相手に圧力をかけ、その間に上半身でも仕事をしている。相手の力士が対処策に悩んでいる内に土俵際まで運んでしまうという、迫力のある相撲。尊富士は、わんぱく相撲から始まり津軽の木造中学校から鳥取城北高校・日本大学を経てプロ入り。令和4年9月場所初土俵で、序ノ口からスタートした力士。大の里の後を追って今場所新入幕。184cm143Kg と大の里よりひとまわり小さくはあるが立派な体格で、しかも弛みのない引き締まった体。腰の構えが良く、おだな動きはなく、突き押し良し、寄り身ありの正統派を感じさせる力士。何よりも自分に自信を持っている毅然とした表情が印象的。日を追って行くに従って上位の力士たちが安定しない相撲と星の色でふらついている中で、何かが起きそうな予感がするし、こんなことで良いのだろうかという心配もちらついてくる序盤戦だった。

<中日>になったら少しは状況が変わかなと思いはしたが、横綱は休場、大関霧島は勝ち越しも危うい状態とさらに悪化の一途を辿ってきた。5勝以上をあげた(白星先行)力士を地位別に並べて見るとこんな具合になった。序盤で良い動きをしていた阿武咲はもう力尽きて、残念ながらいつもの阿武咲に戻ってしまった。

	横綱	大関	関脇	小結	平幕
8戦全勝					尊富士
7勝1敗					大の里
6勝2敗		豊昇龍・貴景勝・琴ノ若		阿炎	御嶽海・佐田ノ海・湘南乃海
5勝3敗			若元春		翔猿・豪ノ山・高安・阿武咲・錦富士

ここまでの8日間で勝ち越しているのは、「小結以上の5力士」と「平幕の10力士」ということになった。

<9日目>小結阿炎は尊富士になすすべもなく土俵外へ運び出され、関脇若元春は大の里に撃破されてこの表から脱落。それだけでは終らず、大関豊昇龍も翠富士の作戦に見事にはまり、肩すかして転がされて敗退。湘南乃海の動きが少しずつ良くなってきた。

	横綱	大関	関脇	小結	平幕
9戦全勝					尊富士
8勝1敗					大の里
7勝2敗		貴景勝・琴ノ若			湘南乃海
6勝3敗		豊昇龍・		阿炎	御嶽海・豪ノ山・高安・佐田ノ海

10日目からはこの表の中での直接対決が始まるので、どんな展開になり誰が生き残るか。

<10日目>取組の目玉は「尊富士対大の里」で、観客席の景色を見ると他の取組などどうでも良い様な感じに見えた。直接対決は一瞬にして結着がついてしまった。終ってしまえば「なるほど」と頷くことができるような解り

やすい展開だった。大の里は大きな体で腰と腹を使って相手に圧力をかけながら前進する相撲、一方の尊富士は鋭い踏み込みと低い腰の構えから、前傾姿勢を保ちつつは押しを中心に足を運んでいく相撲。下から上へと圧力をかけながら前進する尊富士に凱歌が上がったのは当然と言えば当然かもしれない。

土俵に上がっても下りても変わらない、冷静なきりりとした表情には新入幕ながら風格も感じる。

貴景勝は大栄翔の突き押しに絶えられず敗退、阿炎は御嶽海の厳しい攻めに屈して、表に残った三役力士はさらに減ってしまった。

	横綱	大関	関脇	小結	平幕
10 戦全勝					尊富士
9 勝1 敗					
8 勝2 敗		琴ノ若			大の里
7 勝3 敗		豊昇龍・貴景勝			御嶽海・豪ノ山・高安・湘南乃海

<11日目>高安・豪ノ山は勝ち残り、御嶽海・湘南乃海は敗退。

尊富士は今場所好調な大関琴ノ若を破り、大の里は大関貴景勝を土俵外へ運び去った。まさに番付表を逆立ちさせたような感じになってしまった。大関2人と平幕4人に絞られた賜杯争いはどうなるのだろうか。

	横綱	大関	関脇	小結	平幕
11 戦全勝					尊富士
10 勝1 敗					
9 勝2 敗					大の里
8 勝3 敗		琴ノ若・豊昇龍・			豪ノ山・高安

若手二力士の対大関戦がまだ続くが、これに抗する力がある大関はいらぬだろうか。

「新入幕で11連勝は大鵬以来の大記録」と騒いでいるが、騒いでいる場合ではないのではないかと。

<12日目>淡々と流れる取組の中に、佐田の海・大奄美戦、御嶽海・阿武咲戦、宇良・明生戦などの熱戦があり退屈はしなかった。そして高安が阿炎に敗れたことで、この表にも変化が始まった。

関脇大栄翔と対戦した豪ノ山が力強い相撲で9勝目を上げた。貴景勝が若元春に敗れて5敗目を喫したあと尊富士が大関豊昇龍に挑んだ。これまで浅い位置に上手を引いて突っ走ってきた尊富士が、差し手だけで走ったので、豊昇龍の回転しながらの小手投げで土俵下に転がされてしまった。

そして結びの一番は、大の里・琴ノ若戦。大の里も同じような展開で大関の小手投げに飛ばされた。

	横綱	大関	関脇	小結	平幕
12 戦全勝					
11 勝1 敗					尊富士
10 勝2 敗					
9 勝3 敗		琴ノ若・豊昇龍・			豪ノ山・大の里

かくして12日目を終えて、左表のように大関二人と平幕三人が残った形になった。「新入幕の全勝優勝」という稀に見る珍事(不祥事?)の可能性はなくなったが、尊富士が2差で優位にあることには変りはない。

ここへ来て、一心不乱に押しまくる豪ノ山の存在も気になってきた。

<13日目>尊富士の今日の対戦相手は関脇若元春。どんな相撲をとれるのかと興味半分・心配半分で見ていたのだが、何と序盤・中盤と突っ走ってきたのと変わらない相撲で、四つ身の型を持つ中堅力士を物ともせず寄り切った。まだ対戦していない上位力士は、傷だらけの大関と負け越しの大関しかいない。残り二日の対戦相手は誰になるのだろうか。星の差二つなので、新入幕の尊富士はあとひとつ勝てば……。

次の取組は大の里・大栄翔戦。決死の形相で尽きまくる大栄翔を叩き込んだ大の里が3敗で残った。

琴ノ若は突いてくる貴景勝を捕まえて土俵際の攻防となったが、微妙な体のかわし方で貴景勝が勝ちを拾った。

琴ノ若はこれで表から脱落したのだが、「まさか……？」と勘繰りたくなるような、後味の良くない決し型だった。

3敗の豊昇龍は相星の豪ノ山を豪快なすくい投げで投げ飛ばして、3敗を守った。

	横綱	大関	関脇	小結	平幕
12勝1敗					尊富士
11勝2敗					
10勝3敗		豊昇龍			大の里

取組終了後になって明日の取組表が発表された。尊富士の対戦相手は朝乃山、大の里は阿炎、豊昇龍は琴ノ若と発表された。様々な人が、様々な展開を想像しているようで、聞いているだけで面白い。

通常の場合だと、このあたりで「私の見た今場所の三賞」を書いて見るのだが、今場所はそんなことを考えようとも思わない。

<14日目> 入幕したばかりの若者が賜杯を抱くのか、それとも大関がメンツをかけて逆転するかと言う構図になってしまった今場所。最後の二日間でどうなるのだろうか。

注目の取組、まずは尊富士対朝乃山。右四つの型に自信を持っている朝乃山が余裕を持って取れている感じがした。土俵中央での攻防ののち寄り切りで尊富士を破った。これだけで済めば千秋楽の取組が楽しみになったということだったのだが、思いがけない事件が起きてしまった。土俵下に落ちた尊富士が歩けない状態で、車椅子で運ばれた後救急車で病院に運ばれてしまった。右足のどこかを痛めたようだが詳細はわからぬまま、次の取組に進んでしまった。

続く阿炎・大の里戦は、阿炎の上半身の伸びきった突きを冷静に見抜いて叩き込んだ大の里に凱歌が上がった。これで豊昇龍の優勝の可能性も出てきたのだが…。

豊昇龍は結びの一番で、粗雑な相撲で墓穴を掘って琴ノ若に転がされてしまい脱落。

	横綱	大関	関脇	小結	平幕
12勝2敗					尊富士
11勝3敗					大の里

誰もが想像しなかったような展開になった今場所の土俵は、さらに誰もが想像しなかったような千秋楽を迎えることになった。

<千秋楽> 相撲協会のホームページには「尊富士休場」の情報は見つからなかった。あの状態で出場するのは…と心配になったが、花道の奥を動く姿を見たら、足首にサポーターをしてはいるが腫れ上がってもない。昨日の状況から見れば、豪ノ山の直線的なあたりと突き押しを受け止めるのは至難の業ではないかと懸念したのだが、受け止めて攻めて勝ち、賜杯を手にした。勝負が終わった後の歩き方や表彰式での土俵の昇降の姿を見たら、かなり痛そうな歩き方だった。

新入幕力士が優勝するという極めて稀な、歴史に残る偉業を達成した。右足首の故障の詳細はわからないが、場所後に完治しないと先々に遺恨を残すことになる。すでに膝の靭帯断裂を経験している力士なので、慎重な対応が望まれる。

以上

#### 尊富士と大の里の実績比較(2024年3月場所終了時点)

		序の口	序二段	三段目	幕下	十両	幕内	成績累計
尊富士	在位場所数	1	1	1	4	1	1	69勝10敗 勝率=0.873
	成績(勝-敗)	7-0	7-0	6-1	23-5	13-2	13-2	
	備考	優勝	優勝			優勝	優勝	
大の里	在位場所数				2	2	2	56勝18敗 勝率=0.757
	成績(勝-敗)				10-4	24-6	22-8	
	備考				*			

\*大の里は、幕下10枚目格付出して初土俵